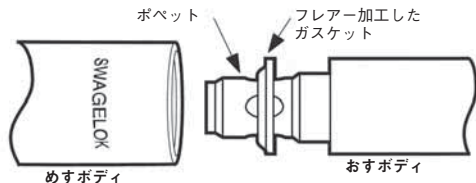


取り付け手順説明書

逆止弁 6C / 8C シリーズ用ガスケット

1. 逆止弁を分解します。
2. 逆止弁を再度組み立てる前に、すべてのコンポーネントに傷やコンタミネーションがないことを確認します。
3. システムに適合する潤滑剤を、逆止弁の O リングおよびガスケットに薄く塗布します。
4. めすボディ内の O リング溝に O リングをセットします。
5. スプリングをおすボディ・エンドに差し込み、次にポペットを差し込みます。
6. メタル・ガスケットをポペットにセットします。その際、ガスケットのフレア部分をポペットの先端部に向けます (図参照)。組み立てる際に、フレア部分の縁が O リング上に接触することになります。



7. おすボディをめすボディにねじ込みます。その際、めすボディとおすボディ六角部の間に約 3.2 mm のすき間があくようにします (指締め位置から約 2 回転まわした位置になります)。
8. 逆止弁の二次側に 3.44 MPa の逆圧を加えます。これにより、O リングおよびガスケットが適切に取り付けられます*。
9. 逆圧を加える間に、下の表に記載のトルク値で締め付けます*。
10. バルブのテストを行い、正常にクラッキングおよび再シールを行うことを確認します。

*クラッキング圧力が 3.44 MPa 以上の場合は、逆圧を加える必要はありません。

ガスケット型番	バルブ材質	トルク値 (N・m)
A-8C-P6	真ちゅう	17.0
SS-8C-P6	ステンレス鋼	22.6
M-8C-96	モネル	22.6
HC-8C-P6	ハステロイ C、Inconel チタニウム、Carpenter 20	22.6

この日本語版手順説明書は、英語版手順説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じてしまった場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。